

地域の力！ 有害図書から青少年を守ろう

5月16日（日）、大崎第一中学校区内にある有害図書無人自動販売機周辺の浄化作業が行われました。

5年前に設置された当初から販売機周辺は、旧国道と竹やぶに囲まれており、死角になりやすく、青少年育成上問題視されています。

そこで、野方小・大崎第一中学校PTAでは、連携活動の一環として定期的に周辺の清掃、伐採作業を行うようになりました。

年々参加者も増え、「あっという間にきれいになった」と作業を終えた皆さんの笑顔が印象的でした。



▲伐採作業で見通しがよくなりました。

被害を最小限に！ 町職員の特設分団発足へ

町職員で構成する大崎町消防団特設分団が4月1日に設置され、40名に辞令が交付されました。

これは、近年、消防団員の就業形態が大きく変化し、昼間の出勤率が早々低下してきていることから、町内勤務の特性を生かし、日中に、発生した火災等の現場へ急行して消防活動を行うものであります。

職員は、これまで消防署で初期消火等の訓練を受けております。

5月17日（月）、田原川流域で発生した火災に初出動し、消火活動を行いました。

美戸特設分団長は「地域に密着した活動で安全、安心のまちづくりの一翼を担い、地元消防団と連携し、被害を最小限にしたい。」と話しました。

かごしまスポーツ合宿セミナー in福岡

5月7日（金）、福岡市でかごしまスポーツ合宿セミナーが行われ、県内12市町が参加しました。

これは、北部九州地区の大学生などを対象にスポーツキャンプや・ゼミ合宿を誘致し、更なるかごしまの魅力をもPRしようというものです。

本町も特設ブースにてスポーツ施設、宿泊施設、観光をPRしました。

また学生には、食事にも興味を持ってもらおうと大和水産に提供いただいた“ちりめん”を使った“ちりめん丼”を振る舞い、本町の特産品を食してもらいました。

今後さらなる誘致活動を展開していくために、広域的な連携のもとにスポーツによる交流人口の増大・定着、地域活性化を図って行きます。



▲大学生と直接交渉を行ないPRしました。



▲地元分団と消火活動にあたる特設分団員